岩倉市橋梁長寿命化修繕計画

大市場橋

令和７年３月

岩倉市　建設部　維持管理課

目　次

１　長寿命化修繕計画の目的 1
(1)　背景 1
(2)　目的 1
(3)　方針 1
２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況） 3
(1)　計画対象の橋梁数（令和７年３月現在） 3
(2)　橋梁の構成 3
(3)　橋梁の年齢 3
(4)　健全性の対策区分の割合 5
(5)　修繕等措置の着手状況 5
３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 6
(1)　健全度の把握に関する基本的方針 6
(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針 7
４　対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 8
５　対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 10
６　長寿命化修繕計画による効果 11
７　新技術の活用 12
８　今後の点検、修繕計画 17
現時点での橋長 15m以上の年次計画及び点検結果を別添資料 1、工事実績を別添資料２に示す。また、橋長 15m未満の年次計画及び点検結果を別添資料３に示す。 17
９　計画策定担当部署 17
計画策定担当部署 17

１　長寿命化修繕計画の目的

(1)　背景

国土交通省では、地方自治体が管理している 13 万箇所を超える道路橋の老朽化等に伴う損傷の早期発見とその補修を行うため、平成 19 年度に「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」を創設した。この制度は「長寿命化修繕計画」の策定に要する費用の一部を国が補助するもので、これまでの事後的な修繕・架替えから、今後は予防的修繕および計画的架替えへと政策転換を促すことを目的としている。

全国的に見て、建設後相当の期間を経過した橋梁を含む社会資本は増大する傾向にあり、老朽化に伴う障害事例が見られる。

愛知県においても、行動計画として平成 27 年度に「道路構造物長寿命化計画」を策定している。

岩倉市の橋梁は、高度経済成長期以降に整備されたものが多く、今後、高齢化の進行が予想される。こうした状況の下、今までのような事後的な修繕および架替えでは更新コストが増大し、市の財政状況が厳しくなり社会資本関連の予算が削減されつつある昨今の状況では、適切な維持管理の継続に振り分ける予算の確保が困難となる可能性がある。

(2)　目的

上記の背景のもと、今後急速に増大する高齢化した橋梁の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な修繕・計画的な架替えへと円滑な政策転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替えにかかるコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした。

(3)　方針

長寿命化修繕計画は、橋梁定期点検結果を基礎データとして用いて立案する。計画は、重要な橋梁から優先的に実施するのが望ましいため、計画対象の橋梁を選定する必要がある。

本計画の対象となる橋梁は以下の条件で選定した。

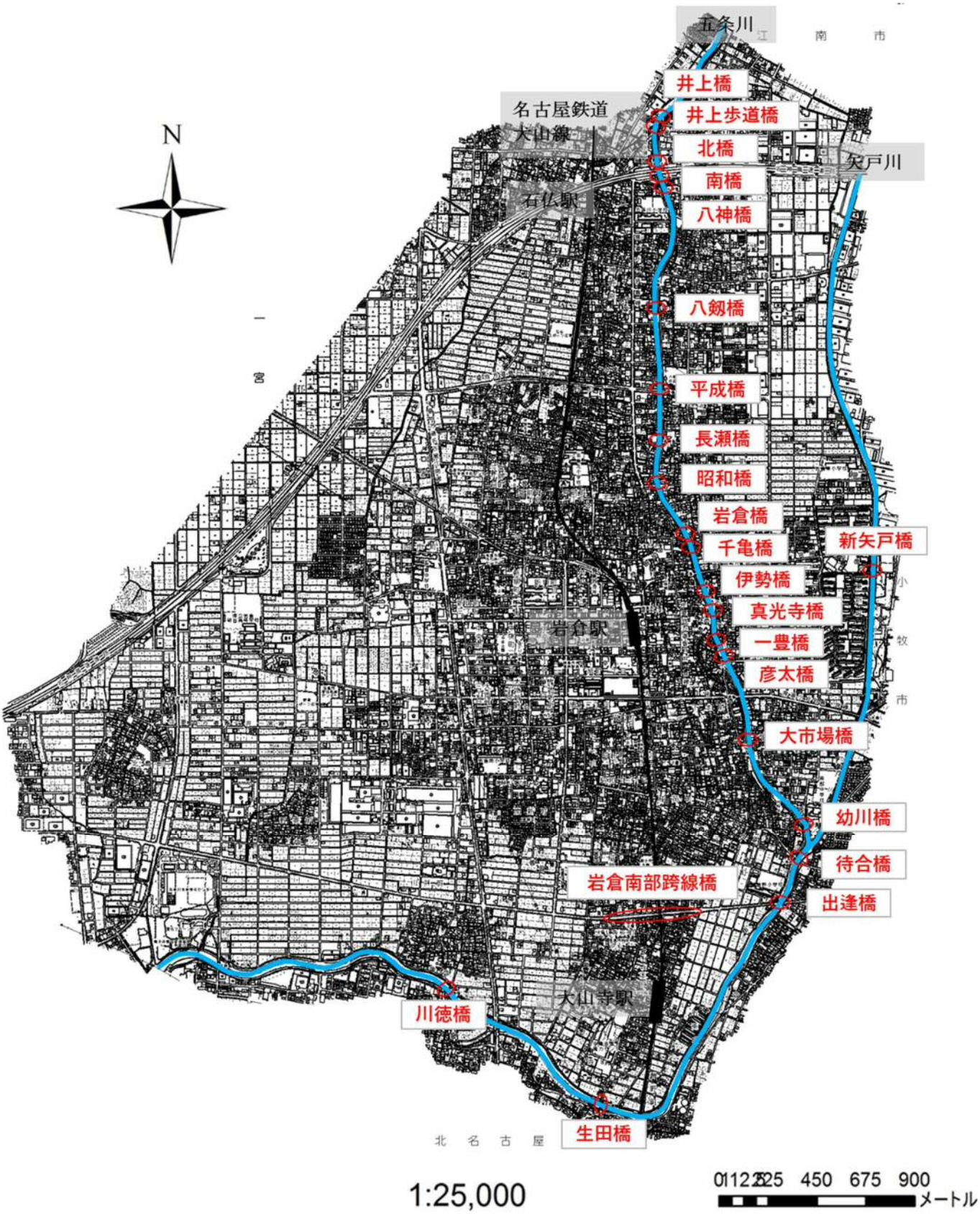
- 岩倉市が管理する橋長 2m 以上の橋梁

計算処理にあたっては、愛知県建設部道路維持課主催の委員会で検討された愛知県の橋梁アセットマネジメントシステムを利用して、今後 100 年間のライフサイクルコストが最小となるように計画した。

なお、本計画はコスト縮減及び安全性・信頼性を確保するために影響の大きくなる橋長 15m 以上の橋梁に重点を置いて計画の策定を行っているが、橋長 15m 未満の橋梁においても準用するものとする。

計画期間は今後５年間（令和７年度～令和 11 年度）とする。

(4)　橋梁位置図（橋長 15m 以上）



２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）

(1)　計画対象の橋梁数（令和７年３月現在）

岩倉市が管理する 2m 以上の橋梁全 129 橋を計画対象とする。

(2)　橋梁の構成

129 橋のうち、橋長 15m 以上の橋が 23 橋、橋長 15m 未満の橋が 106 橋となっている。

橋長 15m 以上の橋 23 橋の橋種別橋梁割合は以下のとおりであり、鋼橋が 34.8%、RC 橋が 8.7%、PC 橋が 56.5%となっている。

また、大気環境別の橋梁割合は、100%平野地帯となっている。

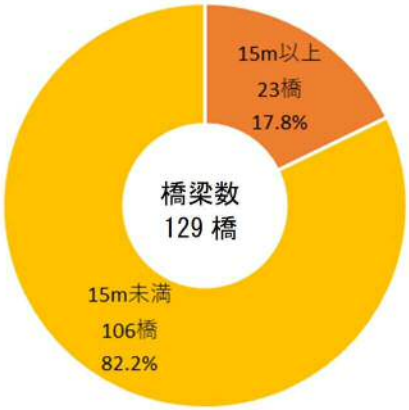


図-2.1　橋長別の橋梁割合

橋種	橋梁数	総橋長
鋼橋	8 橋	234.51m
RC 橋	2 橋	37.35m
PC 橋	13 橋	536.15m
計	23 橋	808.01m

表-2.1　橋種別の橋梁数・総橋長

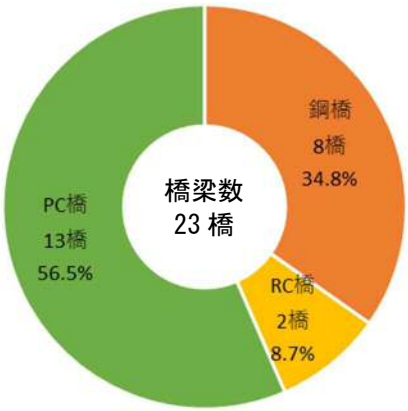


図-2.2　橋種別の橋梁割合

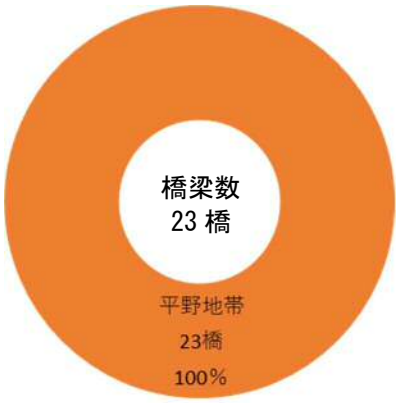


図-2.3　大気環境別の橋梁割合

(3)　橋梁の年齢

橋長 15m 以上の橋の供用開始年度別橋梁数は下図のとおりである。現時点では、架設後 50 年以上経過した橋梁は 11（47.8%）であるが、10 年後には 15 橋（65.2%）、20 年後には 16 橋（69.6%）と増加する。

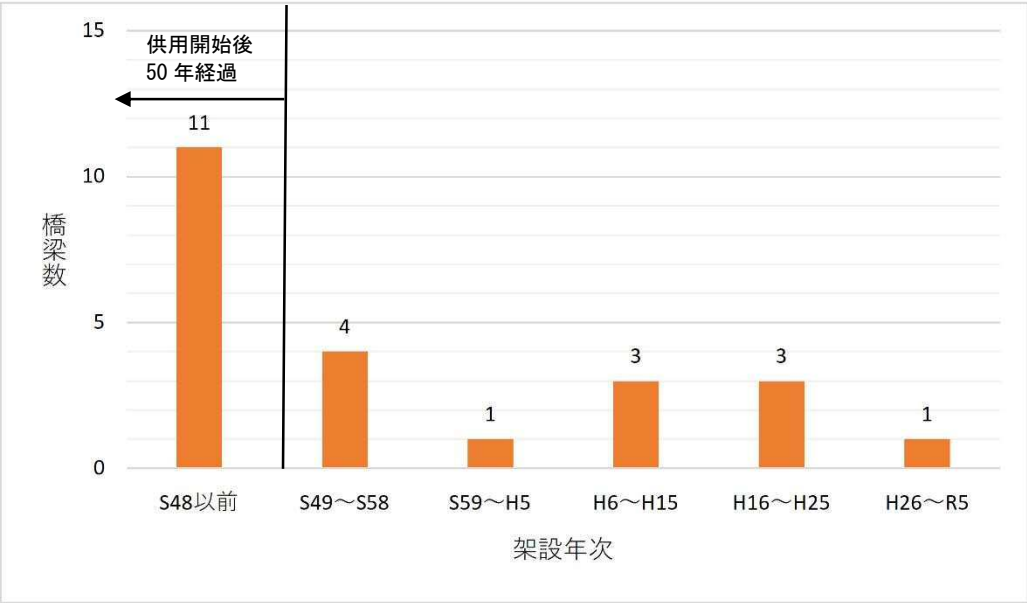


図-2.4　現在の年齢別橋梁割合

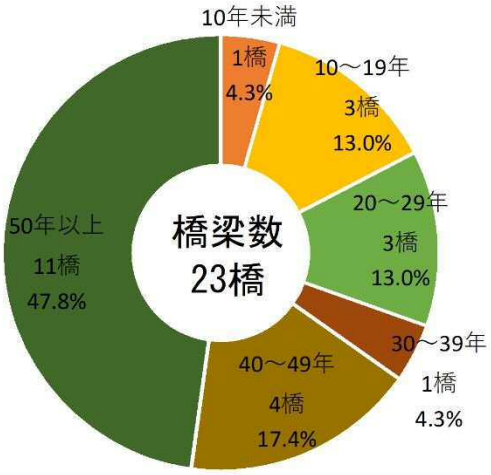


図-2.5　供用開始年度別の橋梁数

図-2.6　供用開始後 50 年以上の橋梁割合推移

橋長 15m 未満の橋の供用開始年度別橋梁数は下図のとおりである。現時点では、架設後 50 年以上経過した橋梁は 37 橋（69.8%）であるが、10 年後には 49 橋（92.5%）、20 年後には 51 橋（96.2%）と増加する。

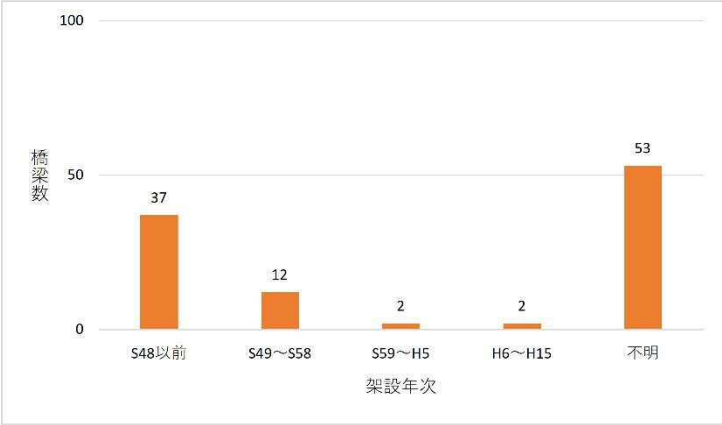


図-2.7　現在の年齢別橋梁割合

図-2.8　供用開始年度別の橋梁数

図-2.9　供用開始後 50 年以上の橋梁割合推移
※仮設年次が不明の橋梁を除く

(4)　健全性の対策区分の割合

橋長 15m 以上の橋の健全性の対策区分の割合は下図のとおりである。現時点では、橋単位で健全度Ⅲの橋梁は存在しない。健全度Ⅱが 19 橋(83.0%)、健全度Ⅰが 4 橋(17.0%)である。

橋長 15m 未満の橋の健全性の対策区分の割合は下図のとおりである。現時点では、橋単位で健全度Ⅲの橋梁は存在しない。健全度Ⅱが 62 橋(58.0%)、健全度Ⅰが 44 橋(42.0%)である。

(5)　修繕等措置の着手状況

橋長 15m 以上の橋について、2024 年近辺で修繕措置に着手した橋梁は、7 橋である。
2025 年以降 5 年のうち、3 橋について修繕工事を予定している。
橋長 15m 未満の橋について、2024 年近辺で修繕措置に着手した橋梁は、2 橋である。
2025 年以降 5 年のうち、1 橋について修繕工事を予定している。

３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1)　健全度の把握に関する基本的方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度・構造や立地条件等を十分に考慮して点検計画を立て、5 年に 1 回の定期点検を実施する。定期点検においては、愛知県の「橋梁定期点検要領」に基づいて実施し、橋梁の損傷を早期に把握するよう心掛ける。

橋梁定期点検要領では、部材単位で細かく点検し、損傷の程度等に基づき対策の必要性を表-3. 1 に示すように判定している。

損傷が発見された橋梁については市職員が現地を確認し、道路の安全管理に万全を期す。また、日頃から維持管理の技術向上に努める。

表-3.1　定期点検における橋梁の対策の必要性

判定区分（新点検要領H26.9）		判定の内容
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

写真-3.1 専門業者による点検状況①

写真-3.2 専門業者による点検状況②

(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針

橋梁の保全を図るため、日常的な点検として道路パトロールを実施する。

道路パトロールでは、パトロール車で走行しながら目視点検を行い、異常が疑われる箇所については徒歩による目視点検を行う。

異常を発見した際、道路上の落下物等、現場において対応が可能であるものについてはその場で対応する。具体例として、排水の目詰まりや土砂堆積等を発見した際には必要に応じて堆積土砂の除去等を実施する。

道路パトロールにおける橋梁に関する目視点検項目を下表に示す。

表-3.2　橋梁に関する点検項目

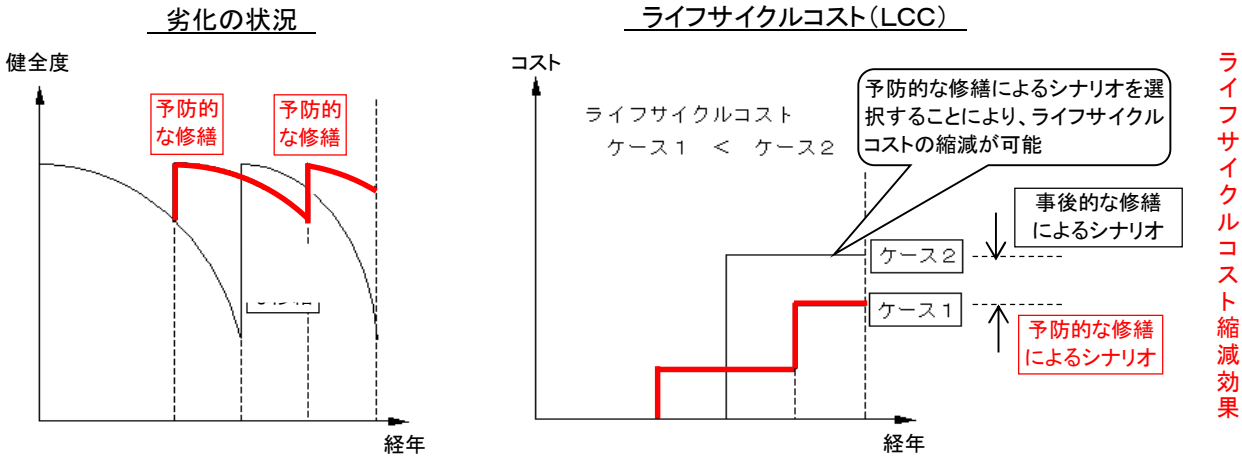
点検項目	確認内容
破損	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
腐食	
剥離	
鉄筋露出	
ボルト外れ・ゆるみ	個数
落書き	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
接合部の段差	
土砂堆積	
排水不良	個数
その他	

写真-3.3 職員による点検状況①

写真-3.4 職員による点検状況②

４　対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

日常の道路パトロールの中で清掃等を実施し、橋梁定期点検の中で損傷の度合いおよび対策の必要性を定めるとともに、従来の事後的な修繕から予防的な修繕等の実施へ移行し、コストが掛かる架替えを極力なくすことにより、橋梁の長寿命化を目指す。また、長寿命化を適切に計画することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化および高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）の縮減を図る。



修繕種別	工法（例）	実施サイクル
予防的な修繕	塗装塗替え（ふっ素）＋3 種ケレン Ａ	19 年毎
事後的な修繕	塗装塗替え（ふっ素）＋1 種ケレン＋当て板補修	34 年毎

図-4.1　ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）と劣化予測の関連イメージ

～新矢戸橋の撤去及び維持管理におけるコスト縮減の検討～

社会経済情勢や施設の利用状況等の変化に応じた適正な配置のための橋梁や横断歩道橋の集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減を地元の意見を踏まえながら検討する。

岩倉市が管理する 15m以上の橋梁のうち、竣工年が最も古く、現在にあたり多くの損傷が発生している新矢戸橋について、橋を撤去することにより、計画期間中に今後の維持管理費用の削減を目指す。

新矢戸橋について、残寿命 39 年（架設年次：1964 年）を維持管理していくうえで、以下の費用が発生する。

・定期点検（脚立点検）

・補修工事

断面修復工、ひび割れ補修工、舗装打換え工、橋面防水工、伸縮装置補修工

（2017 年（平成 29 年）点検結果より、補修項目を想定）

次頁に LCC を含めた概算費を示す。

表-4.1　新矢戸橋　維持管理費算出表

残寿命	年次	内容	費用	備考
40	2024			
39	2025	補修工事　想定される補修工（舗装打換え・橋面防水、伸縮装置補修、断面修復、高欄取換え工）	¥18,200,000	・伸縮装置は、新技術であるAOS工法を採用することを想定する。（耐用年数15年） ・舗装打換えと橋面防水に関しては、耐用年数15年を想定する。 ・断面修復とひび割れ補修は、随時補修することとし、初期費用のみ計上する。
38	2026			
37	2027	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
36	2028			
35	2029			
34	2030			
33	2031			
32	2032	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
31	2033			
30	2034			
29	2035			
28	2036			
27	2037	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
26	2038			
25	2039			
24	2040	補修工事　舗装打換え・橋面防水、伸縮装置補修	¥6,400,000	
23	2041			
22	2042	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
21	2043			
20	2044			
19	2045			
18	2046			
17	2047	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
16	2048			
15	2049			
14	2050			
13	2051			
12	2052	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
11	2053			
10	2054			
9	2055	補修工事　舗装打換え・橋面防水、伸縮装置補修	¥6,400,000	
8	2056			
7	2057	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
6	2058			
5	2059			
4	2060			
3	2061			
2	2062	定期点検　脚立点検、調書等作成	¥350,000	
1	2063			
0	2064	架け替え		
合計			¥33,800,000	諸経費込み

表-4.2　新矢戸橋　橋の撤去算出表

項目	規格	費用	
構造物撤去	上部工	¥ 8,645,000	
	下部工	¥ 1,014,000	
護岸復旧工	作業土工	¥ 1,171,000	
	護岸復旧	¥ 1,654,700	
仮設工	土のう	¥ 313,820	
合計		¥ 12,798,520	直工費
		¥ 27,200,000	経費込み

上表より、撤去した方が今後の維持管理より、¥6,600,000 円程度(33,800,000(表 4-1.維持管理費)−27,200,000(表 4-2.撤去費))のコスト縮減が図れる。

表-4.1 より、維持管理費算出表より、維持管理費が橋の撤去費(表-4.2)を上回る年が 2025 年である。よって、2024 年までに橋の撤去を行えばコスト縮減が図れるが 2025 年に補修工事を予定している。

５　対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

長寿命化修繕計画の基本的な考え方は、愛知県の「社会資本長寿命化基本計画」を参考に以下のように設定した。

①　劣化予測

劣化予測は、「社会資本長寿命化基本計画」において諸元情報及び点検結果を基に類型化したグループ単位で統計的に分析された結果を用いた。

②　ＬＣＣ分析

将来的に発生する維持管理コスト、運営コスト、廃棄コスト、更新コスト等を踏まえた経済性の評価を行うことで、中長期的な視点からの戦略的管理計画を立案することを目的にＬＣＣ分析を行った。

ＬＣＣ分析は、

a)橋梁に著しい損傷が発生してから補修する場合（事後保全タイプ）

b)定期的に点検を実施し損傷が軽微なうちに補修する場合（予防保全タイプ）

の２タイプによりコスト比較を行った。

③　優先度判定

点検の結果、対策が必要と判断された損傷に対して、限られた予算で維持補修を行うには、優先度を付け工事計画を立案する必要がある。優先度の考え方を以下に示す。

- 主部材の損傷状況　主桁、床版等の主部材の損傷が著しい橋梁の修繕を優先
- 塗装系　劣化が早い塗装系の橋梁を優先
- 適用示方書　旧い基準が適用されている橋梁の修繕を優先
- 主桁の端部　劣化が早い主桁の端部の修繕を優先
- 交通量　利用度の高い橋梁の修繕を優先
- 大型車交通量　大型車交通量が多く、床版の疲労劣化の著しい橋梁の修繕を優先
- 重要路線　重要路線に位置する橋梁を優先

６　長寿命化修繕計画による効果

以上の長寿命化に係わる基本方針に基づき作成した今後 100 年間の長寿命化修繕計画の効果を以下に示す。

①　トータルコストの縮減効果

橋梁に著しい損傷が発生してから補修する場合（事後保全タイプの補修）、定期的に点検を実施し損傷が軽微なうちに補修する場合（予防保全タイプの補修）の 2 タイプのコスト比較を実施した。

橋長 15m以上の橋梁を対象とした場合、今後 100 年間の補修費（詳細設計費等を除く）は事後保全タイプの約 981 百万円から、予防保全タイプの約 756 百万円となり、約 225 百万円（約 23%）の縮減が見込まれる。

②　補修費を平準化した場合の年間予算額

橋長 15m以上の橋梁における今後 100 年間の予防保全タイプの補修費約 756 百万円を 100 年で単純に平準化した場合、約 7.6 百万円/年となる。

この補修費を全管理橋梁で比例配分した場合、約 42 百万円/年の補修費が必要となる。

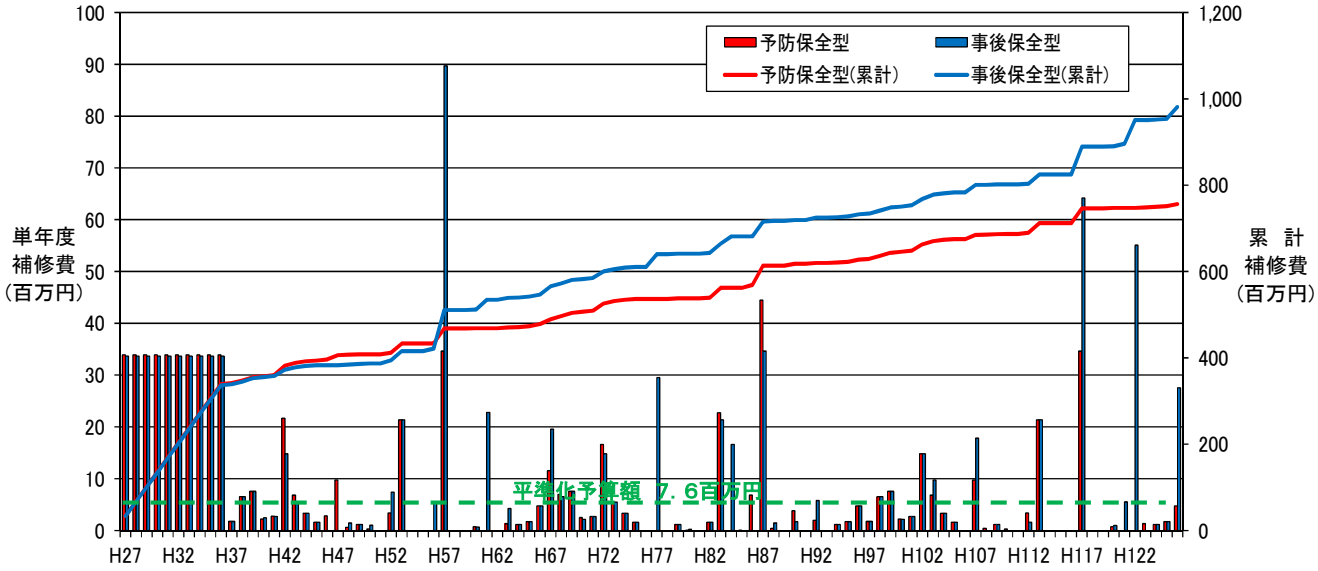


図-6.1　計画による効果

注）補修費に点検費は含まれていない、当初 10 年は単純に平準化している。

７　新技術の活用

より実効性のある長寿命化修繕計画の策定を促進するため、今後は修繕や点検等に係る新技術の費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術の活用の検討を行う必要がある。

新技術については、以下のホームページに掲載されている工法等について、従来工法との比較検討により、最適な工法選定を行う。

・新技術情報提供システム（NETIS）
https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS
・国土交通省「点検支援技術性能カタログ（案）」
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/inspection-support/

＜補修工事＞

岩倉市が管理する 129 橋（15m以上の橋梁：23 橋、15m未満の橋梁：106 橋）のうち、補修工事に関しては、10 橋について、計画期間中に新技術を活用することを目標とし、コスト縮減を図れる有効な手段として、積極的に努めます。

（１）代表的な新技術

管理橋梁の老朽化は、日々進行しており、橋梁の長寿命化および維持管理の効率化を図るため、「新技術情報提供システム（NETIS）」を参照し、有用な新技術の活用を目指します。

経済性、施工性、品質等、総合的な観点において、従来工法と比べて同等以上となる新技術は、「１.塗装塗替（素地調整）　工法名：循環式ハイブリッドシステム」と「２.伸縮装置補修　工法名：伸縮装置及び床版防水の一体化工法(ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM 工法)」である。

現地の損傷状況及び詳細調査から、上記 2 つの補修工が想定され、新技術を活用する条件をクリアしている橋を次頁に抽出した。

No.	橋名	路線名	所在地	架設年次（西暦）	橋長(m)	幅員(m)	橋梁の種類	塗装塗替	伸縮装置補修
1	井上橋	市道三ツ渕線	井上町畑田	1996	19.0	6.5	PC橋	—	—
2	井上歩道橋	市道三ツ渕線	井上町畑田	1981	21.0	1.5	鋼溶接橋	○	—
3	北橋	市道名神側道北線	石仏町稲葉	1965	20.0	6.0	PC橋	—	—
4	南橋	市道名神側道南2号線	井上町畑田	1964	20.0	6.0	PC橋	—	○
5	八神橋	市道北46号線	神野町郷浦	1978	21.0	5.6	鋼溶接橋	○	—
6	八剱橋	市道北161号線	八剱町樋口	1975	23.0	5.0	鋼溶接橋	○	—
7	平成橋	市道一宮春日井線	東町仙敷	2000	27.0	18.6	PC橋	—	—
8	長瀬橋	市道仙奈保育園北線	東町藤塚	1973	21.0	7.8	PC橋	—	—
9	昭和橋	市道北363号線	東町東市場屋敷	1970	16.0	7.3	PC橋	—	○
10	岩倉橋	市道岩倉橋線	中本町中市場	1935	20.0	7.8	RC橋	—	—
11	千亀橋	市道北409号線	中本町中市場	2010	22.0	2.5	鋼溶接橋	○	—
12	伊勢橋	市道伊勢橋線	下本町真光寺	1978	18.0	2.5	鋼溶接橋	○	—
13	真光寺橋	市道南185号線	下本町真光寺	1937	17.0	5.5	RC橋	—	—
14	一豊橋	市道一豊橋線	下本町天神塚	1995	24.0	2.5	PC橋	—	—
15	彦太橋	市道彦太橋線	下本町天神塚	1968	19.0	6.0	PC橋	—	—
16	大市場橋	市道南377号線	下本町丸之内	1967	21.0	6.6	PC橋	—	—
17	幼川橋	市道団地西線	曽野町江毛	1974	27.0	6.0	鋼溶接橋	○	—
18	待合橋	市道南890号線	曽野町東野	1971	31.0	8.8	PC橋	—	—
19	出逢橋	市道北島藤島線	曽野町井森	2011	54.0	11.0	鋼溶接橋	○	—
20	生田橋	市道名古屋岩倉線	大山寺町生田	2011	49.0	7.0	PC橋	—	—
21	川徳橋	市道川徳橋線	川井町郷前	1985	50.0	5.0	鋼溶接橋	○	—
22	新矢戸橋	市道南57号線	東新町釜之口	1964	19.0	4.5	PC橋	—	—
23	岩倉南部跨線橋	市道乙北島藤島線	曽野町下街道	2017	251.0	10.9	PC橋	—	—

凡例↓

	:新技術活用が可能であると想定される橋

上表の１０橋について、新技術活用を目標とする。
次頁以降に従来工法と新技術の施工費比較表を示す。

2. 井上歩道橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
57	2024				
≀					
54	2027	塗装塗替	1,409,228	1,087,834	-321,395
≀					
24	2057	塗装塗替	1,409,228	1,087,834	-321,395
≀					
0	2081				
合計			2,818,456	2,175,667	-642,789

4. 南橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
40	2024				
≀					
32	2032	伸縮装置補修	970,800	882,869	-87,931
≀					
17	2047	伸縮装置補修	970,800	882,869	-87,931
≀					
2	2062	伸縮装置補修	970,800	882,869	-87,931
≀					
0	2064				
合計			2,912,400	2,648,607	-263,793

5. 八神橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
54	2024				
≀					
28	2050	塗装塗替	3,128,557	2,415,045	-713,512
≀					
0	2078				
合計			3,128,557	2,415,045	-713,512

6. 八剱橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
51	2024				
≀					
24	2051	塗装塗替	2,784,550	2,149,494	-635,056
≀					
0	2075				
合計			2,784,550	2,149,494	-635,056

9. 昭和橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
46	2024				
≀					
36	2034	伸縮装置補修	970,800	882,869	-87,931
≀					
21	2049	伸縮装置補修	970,800	882,869	-87,931
≀					
6	2064	伸縮装置補修	970,800	882,869	-87,931
≀					
0	2070				
合計			2,912,400	2,648,607	-263,793

11. 千亀橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
86	2024				
≀					
70	2040	塗装塗替	2,414,760	1,864,040	-550,720
≀					
40	2070	塗装塗替	2,414,760	1,864,040	-550,720
≀					
10	2100	塗装塗替	2,414,760	1,864,040	-550,720
≀					
0	2110				
合計			7,244,280	5,592,119	-1,652,161

12. 伊勢橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
54	2024				
≀					
25	2053	塗装塗替	2,059,599	1,589,878	-469,721
≀					
0	2078				
合計			2,059,599	1,589,878	-469,721

17. 幼川橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
50	2024				
≀					
24	2050	塗装塗替	6,436,535	4,968,591	-1,467,943
≀					
0	2074				
合計			6,436,535	4,968,591	-1,467,943

19. 出逢橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
87	2024				
≀					
70	2041	塗装塗替	24,322,076	18,775,081	-5,546,995
≀					
40	2071	塗装塗替	24,322,076	18,775,081	-5,546,995
≀					
10	2101	塗装塗替	24,322,076	18,775,081	-5,546,995
≀					
0	2111				
合計			72,966,228	56,325,243	-16,640,986

21. 川徳橋

残寿命	年次	補修部材	従来	新技術	コスト縮減
61	2024				
≀					
29	2056	塗装塗替	10,861,299	8,384,225	-2,477,074
≀					
0	2085				
合計			10,861,299	8,384,225	-2,477,074

＜定期点検＞

岩倉市が管理する 129 橋（15m以上の橋梁：23 橋、15m未満の橋梁：106 橋）のうち、橋梁点検における新技術を活用することは、現段階では困難な状況である。

桁下空間や水位、周辺状況等から、物理的に使用可能な技術があるが、近接目視・打音検査を実施する場合は新技術と併用する形で従来工法を実施しなければならないため、コスト縮減は期待できない。

しかし、物理的に使用可能な技術は存在するため、点検方法の選定協議にて、損傷程度から点検レベルの調整等行えば、今後、コスト面等から新技術の活用は可能となる。

８　今後の点検、修繕計画

現時点での橋長 15m以上の年次計画及び点検結果を別添資料 1、工事実績を別添資料２に示す。また、橋長 15m未満の年次計画及び点検結果を別添資料 3 に示す。

なお、この計画は今後の点検結果等により適宜修正する。

今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減については、以下の方策を実施する。

・新技術を活用し、定期点検におけるコスト縮減を図る。

・修繕橋梁の優先順位を設定し、維持管理に係るコストを縮減するとともに、予算の平準化を図る。

・修繕工事において、新技術を活用し、工事を効率化することで工期の短縮等によるコストの縮減を図る。

９　計画策定担当部署

計画策定担当部署

岩倉市 建設部維持管理課　TEL: 0587-38-5813

以　上

岩倉市橋梁長寿命化修繕計画

平成 26 年１月	策定
平成 26 年４月	公表
平成 28 年 12 月	改訂
平成 31 年３月	改訂
令和２年３月	改訂
令和３年３月	改訂
令和４年６月	改訂
令和４年 12 月	改訂
令和５年３月	改訂
令和６年３月	改訂
令和７年３月	改訂

橋長15m以上の橋梁一覧

【R7.3現在】　　別添資料１

番号	道路橋名	路線名	所在地	架設年次（西暦）	橋長（m）	幅員（m）	橋梁の種類	点検（Ⅰ～Ⅳ：総合判定、○：予定）											修繕										修繕に係る概算費用	対策内容
									実施					予定						実施					予定					
									2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	2029（R11）		2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	2029（R11）		
																			設計実施（予定）数			1		1		(1)		(1)			
								点検実施（予定）数		9	13	1			(10)	(12)	(1)		工事実施（予定）数	3	1	1	1	1	(1)		(1)		(1)	単位：万円（税抜）	
1	井上橋	市道三ツ渕線	井上町畑田	1996	19.2	6.5	PC橋				Ⅱ					○															
2	井上歩道橋	市道三ツ渕線	井上町畑田	1981	21.0	1.5	鋼溶接橋				Ⅱ					○															
3	北橋	市道名神側道北線	石仏町稲葉	1965	20.2	6.0	PC橋				Ⅱ					○															
4	南橋	市道名神側道南2号線	井上町畑田	1964	20.0	6.0	PC橋			Ⅱ					○																
5	八神橋	市道北46号線	神野町郷浦	1978	21.0	5.6	鋼溶接橋			Ⅰ					○					工事											
6	八剱橋	市道北161号線	八剱町樋口	1975	23.0	5.0	鋼溶接橋			Ⅰ					○						工事										
7	平成橋	市道一宮春日井線	東町仙敷	2000	26.6	18.6	PC橋				Ⅱ					○															
8	長瀬橋	市道仙奈保育園北線	東町藤塚	1973	21.0	7.8	PC橋			Ⅱ					○							工事									
9	昭和橋	市道北363号線	東町東市場屋敷	1970	16.0	7.3	PC橋			Ⅰ					○																
10	岩倉橋	市道岩倉橋線	中本町中市場	1935	20.3	7.8	RC橋				Ⅱ					○															
11	千亀橋	市道北409号線	中本町中市場	2010	21.5	2.5	鋼溶接橋				Ⅱ					○												設計	工事	300	木床版取替工、地覆・高欄部材取替工
12	伊勢橋	市道伊勢橋線	下本町真光寺	1978	18.0	2.5	鋼溶接橋			Ⅱ					○								工事								
13	真光寺橋	市道南185号線	下本町真光寺	1937	17.0	5.5	RC橋			Ⅱ					○					工事											
14	一豊橋	市道一豊橋線	下本町天神塚	1995	23.7	2.5	PC橋				Ⅱ					○															
15	彦太橋	市道彦太橋線	下本町天神塚	1968	18.7	6.0	PC橋				Ⅱ				○											設計	工事			960	舗装打換え工・橋面防水工
16	大市場橋	市道南377号線	下本町丸之内	1967	21.0	6.6	PC橋			Ⅱ					○							設計		工事							
17	幼川橋	市道団地西線	曽野町江毛	1974	27.0	6.0	鋼溶接橋			Ⅰ					○					工事											
18	待合橋	市道南890号線	曽野町東野	1971	31.0	8.8	PC橋				Ⅱ					○															
19	出逢橋	市道北島藤島線	曽野町井森	2011	53.8	11.0	鋼溶接橋				Ⅱ					○															
20	生田橋	市道名古屋岩倉線	大山寺町生田	2011	48.6	7.0	PC橋				Ⅱ					○															
21	川徳橋	市道川徳橋線	川井町郷前	1985	49.6	5.0	鋼溶接橋				Ⅱ					○															
22	新矢戸橋	市道南57号線	東新町釜之口	1964	14.4	4.5	PC橋				Ⅱ					○								設計	工事					1,980	断面修復工・舗装打換工・橋面防水工・伸縮装置補修工・高欄取換え工・水切り設置工・排水管補修工
23	岩倉南部跨線橋	市道乙北島藤島線	曽野町下街道	2017	251.0	10.9	PC橋					Ⅱ					○														

（注意事項）点検、設計、工事の予定等については、適宜変更することがあります

（補足事項）点検：道路橋の状態を把握することを目的とし、近接目視で確認すること

設計：点検結果に基づき、補修する内容を検討し、工事の内容を設計すること

工事：補修設計に基づき、工事を施工すること

【工事実績】　　別添資料２

○　施工年度　：　平成27年度

○　道路橋名　：　北橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　　費用　1,187　万円

伸縮装置取替工12m、防護柵取替工43m、地覆設置工20m、橋面防水工119㎡、
舗装打換工119㎡、断面修復工１式、ひび割れ補修工１式、沓座ﾓﾙﾀﾙ復旧工１式

【工事実績】

○　施工年度　：　平成27年度

○　道路橋名　：　岩倉橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　費用　1,868　万円

伸縮装置取替工14m、橋面防水工158㎡、舗装打換工158㎡、断面修復工1式、
ひび割れ補修工1式

【工事実績】

○ 施工年度 ： 平成28年度

○ 道路橋名 ： 待合橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）

費用	2,462 万円

伸縮装置取替工27m、防護柵取替工62m、橋面防水工267㎡、舗装打換工A=267㎡、
断面修復工1式、ひび割れ注入工1式

【工事実績】

○ 施工年度 ： 平成29年度

○ 道路橋名 ： 南橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）

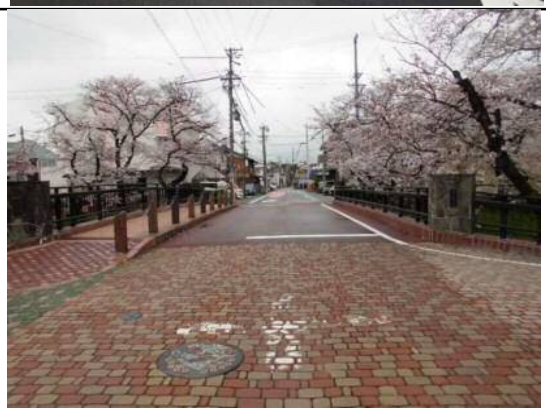
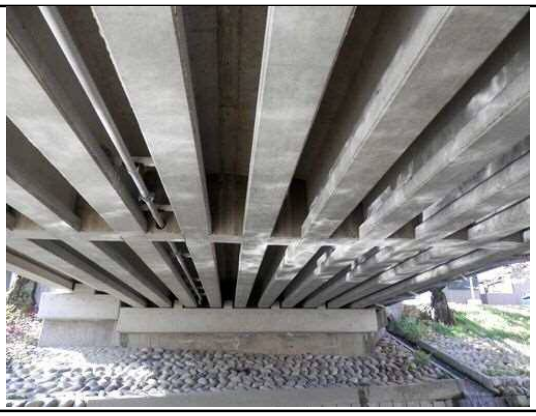
費用 1,731 万円

防護柵取替工41m、地覆設置工41m、伸縮装置設置工24m、橋面防水工118㎡、
舗装打替工（橋面部）118㎡、舗装打替工（橋取付道路部）117㎡

【工事実績】

○　施工年度　：　平成31年度（令和元年度）

○　道路橋名　：　昭和橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）

費用	2,606　万円

防護柵取替工45m、伸縮装置設置工15m、橋面防水工93㎡、
舗装打替工93㎡、タイル舗装工253枚

【工事実績】

○　施工年度　：　令和2年度

○　道路橋名　：　幼川橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　費用　4,301　万円

橋梁塗装工306㎡、防護柵取替工53m、橋面防水工158㎡、舗装打換工158㎡、
断面修復工１式、ひび割れ補修工１式、沓座ﾓﾙﾀﾙ復旧工１式

【工事実績】

○　施工年度　：　平成30年度、令和2年度

○　道路橋名　：　八神橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）

費用　2,606　万円

橋梁塗装工202㎡、樹脂系すべり止め舗装工72㎡、遊間止水工10㎡

断面修復工1式、ひび割れ補修工1式

【工事実績】

○　施工年度　：　令和2年度

○　道路橋名　：　真光寺橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）

費用	309　万円

断面修復工１式、ひび割れ補修工１式、水中コンクリート工１式

【工事実績】

○　施工年度　：　令和3年度

○　道路橋名　：　八剱橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　費用　3,318　万円

橋梁塗装工174㎡、防護柵取替工23m、橋面防水工62㎡、舗装打換工109㎡、
断面修復工1式、ひび割れ補修工1式

【工事実績】

○　施工年度　：　令和4年度

○　道路橋名　：　長瀬橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　費用　2,357　万円

舗装打換工159㎡、防護柵取替工41m、橋面防水工159㎡、薄層カラー舗装工 54㎡、
断面修復工1式、ひび割れ補修工1式

【工事実績】

○　施工年度　：　令和5年度

○　道路橋名　：　伊勢橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　　費用　2,607　万円

防護柵取替工36m、橋梁塗装工135㎡、断面修復工1式、ひび割れ補修工1式

【工事実績】

○　施工年度　：　令和6年度

○　道路橋名　：　大市場橋

	着手前	完了
起点側		
終点側		
側面		
上部工構造		

（工事概要）　費用　1,209　万円

舗装打換工141㎡、橋面防水工141㎡、薄層カラー舗装工141㎡、断面修復工1式、
ひび割れ補修工1式

橋長15m未満の橋梁一覧

【R7.3現在】　別添資料３

番号	道路橋名	路線名	所在地	架設年次（西暦）	橋長（m）	幅員（m）	橋梁の種類	点検（Ⅰ～Ⅳ：総合判定、○：予定）											修繕											修繕に係る概算費用	対策内容
									実施					予定						実施					予定						
									2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	2029（R11）		2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	2029（R11）		
								点検実施（予定）数					106					(106)	設計実施（予定）数											単位：万円（税抜）	
																			工事実施（予定）数						(1)						
1	無名橋１	市道北9号線	石仏町天王	1981	2.9	5.6	RC橋						Ⅱ					○													
2	無名橋２	市道北11号線	石仏町長南屋敷	1981	3.0	4.9	RC橋						Ⅱ					○													
3	無名橋３	市道北12号線	石仏町長南屋敷	1981	3.0	3.0	RC橋						Ⅱ					○													
4	無名橋４	市道北23号線	石仏町長福寺	1962	5.0	1.6	RC橋						Ⅰ					○													
5	無名橋５	市道北68号線	石仏町天王	1986	2.9	5.2	RC橋						Ⅱ					○													
6	無名橋６	市道北69号線	石仏町天王	1981	3.0	5.2	RC橋						Ⅱ					○													
7	無名橋７	市道名神側道北線	石仏町長福寺	1981	7.9	12.7	RC橋						Ⅱ					○													
8	無名橋８	市道名神側道北線	石仏町小山出	1981	5.2	6.2	RC橋						Ⅰ					○													
9	無名橋９	市道北119号線	八剱町十一	1962	3.5	6.5	RC橋						Ⅰ					○													
10	無名橋１０	市道北130号線	八剱町郷	1962	2.5	1.8	RC橋						Ⅰ					○													
11	無名橋１１	市道北131号線	八剱町郷	1962	2.9	2.7	RC橋						Ⅰ					○													
12	無名橋１２	市道北145号線	本町北廻間	1962	3.4	6.6	RC橋						Ⅱ					○													
13	無名橋１３	市道北145号線	本町南新溝廻間	1962	3.4	4.5	RC橋						Ⅱ					○													
14	無名橋１４－２	市道鈴井新道線	本町南廻間	不明	3.4	7.0	RC橋						Ⅱ					○						*修繕							
15	無名橋１５	市道宮前線	本町宮東	不明	3.8	7.7	RC橋						Ⅰ					○													
16	無名橋１６	市道北342号線	本町上郷前	不明	3.5	3.5	RC橋						Ⅱ					○													
17	無名橋１７	市道北347号線	本町南新溝廻間	不明	2.6	2.6	RC橋						Ⅱ					○													
18	無名橋１８	市道北357号線	本町宮東	不明	2.2	2.0	RC橋						Ⅱ					○													
19	無名橋１９	市道北358号線	本町宮東	不明	3.0	3.5	RC橋						Ⅱ					○													
20	無名橋２０	市道北406号線	本町神明西	不明	2.1	5.3	RC橋						Ⅰ					○													
21	無名橋２１	市道北448号線	石仏町小山出	1984	4.0	4.0	RC橋						Ⅱ					○													
22	無名橋２２	市道北449号線	石仏町小山出	1984	4.9	4.0	RC橋						Ⅱ					○													
23	石仏橋	市道小口岩倉線	石仏町往還東南	不明	2.2	3.0	RC橋						Ⅱ					○													
24	石仏橋－２	市道小口岩倉線	石仏町往還東南	不明	2.2	3.7	RC橋						Ⅱ					○													
25	石仏橋－３	市道小口岩倉線	石仏町往還東南	不明	2.2	1.1	RC橋						Ⅰ					○													
26	無名橋２３	市道北515号線	鈴井町下新田	不明	2.1	10.0	RC橋						Ⅰ					○													
27	宮西橋	市道町屋岩倉線	中野町御山寺	1981	2.4	3.9	RC橋						Ⅱ					○													
28	無名橋２４	市道南24号線	西市町無量寺	1981	2.0	9.8	RC橋						Ⅱ					○													
29	無名橋２５	市道南49号線	栄町一丁目	不明	2.0	7.2	RC橋						Ⅱ					○													
30	無名橋２６	市道南156号線	栄町一丁目	不明	2.9	5.3	RC橋						Ⅱ					○													
31	無名橋２７	市道南160号線	栄町二丁目	不明	3.0	9.0	RC橋						Ⅱ					○													
32	無名橋２８	市道南162号線	旭町一丁目	不明	4.7	6.9	RC橋						Ⅱ					○													
33	無名橋２９	市道南171号線	栄町二丁目	不明	3.0	5.2	RC橋						Ⅱ					○													
34	無名橋３０	市道南174号線	栄町二丁目	不明	3.0	6.1	RC橋						Ⅱ					○													
35	無名橋３１	市道南177号線	旭町二丁目	1962	2.7	5.2	RC橋						Ⅱ					○													
36	無名橋３３	市道岩倉稲沢線	大地町二本木	1962	3.0	6.9	RC橋						Ⅱ					○													

37	無名橋３４	市道南小学校南線	野寄町中島	不明	3.2	9.8	RC橋						Ⅰ					○													
38	無名橋３５	市道南小学校南線	稲荷町半田	不明	3.1	2.9	RC橋						Ⅰ					○													
39	無名橋３５－２	市道南小学校南線	稲荷町半田	不明	3.1	7.3	RC橋						Ⅱ					○													
40	無名橋３６	市道野寄新道線	野寄町西海道	1962	4.2	7.3	RC橋						Ⅰ					○													
41	無名橋３７	市道南320号線	野寄町中島	不明	3.2	8.3	RC橋						Ⅰ					○													
42	無名橋３８	市道南333号線	昭和町三丁目	1962	2.9	10.4	RC橋						Ⅱ					○													
43	無名橋３９	市道南339号線	大地町郷前	1962	3.0	5.9	RC橋						Ⅰ					○													
44	無名橋４０	市道南341号線	大地町郷前	1962	3.0	4.0	RC橋						Ⅰ					○													
45	無名橋４１	市道南360号線	昭和町二丁目	1962	3.0	13.1	RC橋						Ⅰ					○													
46	無名橋４２	市道南364号線	昭和町一丁目	1962	2.8	13.9	RC橋						Ⅰ					○													
47	無名橋４３	市道南365号線	昭和町一丁目	1962	2.9	8.6	RC橋						Ⅰ					○													
48	無名橋４４	市道南367号線	昭和町二丁目	1962	2.3	12.0	RC橋						Ⅰ					○													
49	無名橋４５	市道南396号線	稲荷町半田	1972	3.1	7.9	RC橋						Ⅰ					○													
50	無名橋４６	市道南401号線	稲荷町郷廻	1972	2.7	5.1	RC橋						Ⅱ					○													
51	無名橋４７	市道南414号線	稲荷町郷廻	1972	2.9	4.3	RC橋						Ⅱ					○													
52	無名橋４９	市道南518号線	大山寺町西出	1972	3.8	3.7	RC橋						Ⅱ					○													
53	無名橋５０	市道南530号線	大山寺町西出	1972	4.9	7.2	RC橋						Ⅰ					○													
54	無名橋５１	市道南565号線	大山寺町神田	1962	2.8	6.1	RC橋						Ⅱ					○													
55	無名橋５２	市道南566号線	大山寺町前畑	1962	4.2	8.0	RC橋						Ⅰ					○													
56	無名橋５３	市道甲北島藤島線	北島町前田	1996	2.9	14.8	RC橋						Ⅰ					○													
57	無名橋５４	市道甲北島藤島線	野寄町西海道	1996	4.3	16.5	RC橋						Ⅱ					○													
58	無名橋５５	市道甲北島藤島線	川井町二千町	1962	4.8	9.7	RC橋						Ⅱ					○					*修繕								
59	無名橋５５－２	市道甲北島藤島線	川井町二千町	不明	4.8	7.4	RC橋						Ⅰ					○													
60	無名橋５６	市道甲北島藤島線	大山寺町西出	1962	3.6	16.2	RC橋						Ⅱ					○													
61	無名橋５７	市道南609号線	大山寺町前畑	1972	4.2	7.1	RC橋						Ⅰ					○													
62	無名橋５８	市道南610号線	大山寺町下流	不明	2.6	5.1	RC橋						Ⅱ					○													
63	無名橋５９	市道南623号線	大山寺町神田	不明	2.5	7.2	RC橋						Ⅱ					○													
64	無名橋６０	市道南624号線	大山寺町生田	不明	2.5	7.5	RC橋						Ⅱ					○													
65	無名橋６１	市道南636号線	野寄町西出	1972	4.7	6.9	RC橋						Ⅱ					○													
66	無名橋６２	市道南639号線	野寄町高島	1972	4.2	6.0	RC橋						Ⅱ					○													
67	無名橋６４	市道南641号線	野寄町中島	不明	3.2	10.5	RC橋						Ⅱ					○													
68	無名橋６５	市道南642号線	野寄町中島	1981	3.2	10.2	RC橋						Ⅰ					○													
69	無名橋６６	市道南643号線	野寄町西出	1962	5.1	6.5	RC橋						Ⅰ					○													
70	無名橋６７	市道南651号線	野寄町一町田	1981	2.7	9.0	RC橋						Ⅱ					○													
71	無名橋６８	市道南652号線	野寄町一町田	不明	9.8	5.5	RC橋						Ⅱ					○													
72	無名橋６９	市道南671号線	川井町鉄砲	1962	3.1	6.0	RC橋						Ⅰ					○													
73	無名橋７１	市道南682号線	川井町高木	1962	4.7	6.4	RC橋						Ⅱ					○													
74	無名橋７２	市道南683号線	野寄町西海道	不明	5.6	7.1	RC橋						Ⅱ					○													
75	無名橋７３	市道南684号線	野寄町西海道	不明	5.6	7.1	RC橋						Ⅱ					○													
76	無名橋７４	市道南686号線	川井町村西	1962	2.8	6.4	RC橋						Ⅰ					○													
77	無名橋７５	市道南687号線	川井町村西	1962	2.6	6.4	RC橋						Ⅰ					○													
78	無名橋７６	市道南688号線	川井町村西	1962	2.7	6.4	RC橋						Ⅱ					○													

79	無名橋７７	市道南689号線	川井町萱野南	不明	5.0	9.0	RC橋						Ⅰ					○													
80	無名橋７８	市道南692号線	川井町北海戸	1962	2.6	6.4	RC橋						Ⅰ					○													
81	無名橋７９	市道南692号線	川井町二千町	1962	4.5	6.0	RC橋						Ⅰ					○													
82	無名橋８０	市道南692号線	稲荷町高畑	不明	3.4	6.0	RC橋						Ⅰ					○													
83	無名橋８１	市道南698号線	川井町二千町	1962	4.5	6.0	RC橋						Ⅰ					○													
84	無名橋８２	市道南699号線	稲荷町高畑	不明	3.6	6.1	RC橋						Ⅰ					○													
85	無名橋８３	市道南747号線	大山寺町西出	不明	2.9	9.0	RC橋						Ⅱ					○													
86	無名橋８４	市道北島伝法寺線	北島町白山	1991	2.9	19.5	RC橋						Ⅱ					○													
87	無名橋８５	市道南803号線	西市町大西	不明	2.2	10.0	RC橋						Ⅱ					○													
88	無名橋８６	市道南804号線	西市町大西	不明	3.0	12.0	RC橋						Ⅰ					○													
89	無名橋８７	市道南805号線	西市町冨西	不明	2.7	13.5	RC橋						Ⅰ					○													
90	無名橋８８	市道南807号線	西市町二本木	不明	2.6	12.0	RC橋						Ⅰ					○													
91	無名橋８９	市道南808号線	大地町二本木	不明	2.7	12.0	RC橋						Ⅰ					○													
92	無名橋９０	市道萩原多気線	北島町二本木	不明	3.1	9.9	RC橋						Ⅱ					○													
93	無名橋９１	市道南829号線	北島町二本木	不明	3.1	10.0	RC橋						Ⅰ					○													
94	無名橋９２	市道南843号線	北島町二本木	不明	3.1	10.0	RC橋						Ⅱ					○													
95	無名橋９３	市道南844号線	北島町井領	不明	3.1	10.0	RC橋						Ⅱ					○													
96	無名橋９４	市道南846号線	北島町井領	不明	3.1	10.0	RC橋						Ⅰ					○													
97	無名橋９５	市道南860号線	北島町前田	不明	3.0	7.4	RC橋						Ⅱ					○													
98	無名橋９６	市道南869号線	北島町白山	不明	2.9	5.5	RC橋						Ⅱ					○													
99	無名橋９７	市道西中野岩倉線	下本町西沼	不明	3.3	7.6	RC橋						Ⅰ					○													
100	無名橋９８	市道西中野岩倉線	下本町城址	不明	2.6	8.9	RC橋						Ⅱ					○													
101	無名橋９９	市道南890号線	下本町城址	不明	2.0	5.1	RC橋						Ⅱ					○													
102	無名橋１００	市道南890号線	稲荷町稲荷	不明	2.9	3.9	RC橋						Ⅰ					○													
103	無名橋１０１	市道北9号線	石仏町天王	不明	3.2	10.8	RC橋						Ⅲ					○						修繕					111	断面修復工、ひび割れ補修工
104	無名橋１０２	市道北島藤島線	川井町北海戸	不明	2.2	8.7	RC橋						Ⅱ					○													
105	無名橋１０２－２	市道北島藤島線	川井町北海戸	不明	2.0	8.0	RC橋						Ⅱ					○													
106	無名橋１０３	市道南103号線	大山寺本町	不明	2.4	8.2	RC橋						Ⅱ					○													

(注意事項)点検、設計、工事の予定等については、適宜変更することがあります
橋長15m未満の橋梁については、補修が必要な箇所が発見され次第、適宜対応します

(補足事項)点検：道路橋の状態を把握することを目的とし、近接目視で確認すること
設計：点検結果に基づき、補修する内容を検討し、工事の内容を設計すること
工事：補修設計に基づき、工事を施工すること
＊ ：点検時に総合判定がⅢであったが、是正措置後、Ⅰ又はⅡであるもの